阪神・淡路大震災25年

21世紀文明シンポジウム

創造的復興を総括し未来へ提言する

日時 令和2年 **2月4日(火)** 13:00~17:00

場所 神戸新聞松方ホール
（神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル4階）

募集人員 500名
（無料、先着順）
※事前にお申し込みが必要です。



阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク、「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、東日本大震災の被災地で地震・津波等に関する自然災害科学研究を推進する「東北大学災害科学国際研究所」、戦前戦後を通じて防災報道を重視してきた「朝日新聞社」では、大規模災害に対する事前の備えや減災・復興に関する研究成果を広く発信することにより、人々の防災意識を高め安全～安心な減災社会の実現をめざすため、共同でシンポジウムを開催してきました。

このたび、阪神・淡路大震災から25年を迎える兵庫県において、地元の「神戸新聞社」とも連携して、被災地のこれまでの歩みや現状を踏まえ、創造的復興はどこまで成し遂げられたのか、その経験や教訓は東日本大震災をはじめその後の災害の復旧・復興にどのように活かされたのか、南海トラフ地震など次なる災害の発生が懸念されるなか、私たち一人ひとりは震災体験を風化させることなく苦難の歴史から何を学び取りどのように備えるべきかといったことについて考えます。

ぜひご参加ください。







写真提供：神戸市

プログラム

開会挨拶 13:00~13:15

基調講演Ⅰ 13:15~13:55



「阪神・淡路大震災からの教訓‥行政の視点から」

齋藤　富雄　神戸山手大学学長・元兵庫県副知事

基調講演Ⅱ 13:55~14:35



「阪神・淡路大震災からの教訓‥生活復興の視点から」

室﨑　益輝　兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授

主　　催：朝日新聞社、東北大学災害科学国際研究所、ひょうご震災記念21世紀研究機構
共　　催：神戸新聞社
後援（予定）：内閣府政策統括官（防災担当）、復興庁、総務省消防庁、兵庫県、神戸市、関西広域連合

震災を風化させない
忘れない 伝える 活かす 備える
阪神・淡路大震災25年

パネルディスカッション　14:45～16:30

「阪神・淡路大震災からの復興と未来への提言 ～次なる大規模災害からの創造的復興を見据えて」

コーディネーター



御厨　貴

ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長兼研究戦略センター長・
東京大学名誉教授

パネリスト



鳥居　聡

神戸すまいまちづくり公社理事長・
元神戸市副市長



中村　順子

NPO法人コミュニティ・サポート
センター神戸理事長



津久井　進

弁護士・
日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長



畑野　士朗

神戸新聞社報道部デスク

総　括　16:30～17:00



五百旗頭 真

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長・
兵庫県立大学理事長



今村　文彦

東北大学災害科学国際研究所長・
教授



角谷　陽子

朝日新聞大阪本社社会部次長・
大阪版編集長

お申し込み・お問い合わせ

（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構　研究戦略センター
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2　人と防災未来センター東館6F
TEL 078-262-5713　FAX 078-262-5122　E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

■お申し込み方法

○E-mailの場合

件名を「21世紀文明シンポジウム」として、①お名前 ②所属 ③ご住所 ④お電話番号をご記入の上、送信してください。

○FAXまたは郵送の場合

参加申込書に必要事項を記入してお送りください。

お申し込みは1月24日（金）までにお願いします。

※お申し込みの方には、1月上旬より順次、参加証をお送りしますので、当日ご持参ください。

※期日までに定員に達した場合は、（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構のホームページ http://www.hemri21.jp/ にて告知します。

（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構宛　**FAX 078-262-5122**

21世紀文明シンポジウム　参加申込書

お名前	所属・団体等	連　絡　先
ふりがな		〒 TEL　　FAX E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、当機構が適正に管理するとともに、参加証の発送や当機構からの案内に関してのみ使用します。